

# 南小だより

[minamiurawa-e@saitama-city.ed.jp](mailto:minamiurawa-e@saitama-city.ed.jp)

令和3年8月26日

8・9月号

さいたま市立南浦和小学校  
電話 048-861-3781



## 自分の命を大切にすること

校長 小野 圭司

36日間の長い夏休みが終わり、今日から2学期です。子どもたちは夏休みにしかできないような有意義なことに取り組み、大きく成長したのではないかと思います。その間、子どもたちを温かく見守ったり、励ますような声掛けをしたりしていただきました保護者の皆様、地域の皆様に深く感謝を申し上げます。

さて、私は本校の子どもたちに機会をとらえて次の3点について話をしています。これら3点は、コロナ禍を踏まえての内容です。

- ①自分の命を大切にすること
- ②丁寧な言葉遣いをする
- ③目と耳と心を使って話をよく聞くこと

まず②については、マスクを付けていると相手の顔の様子や表情が分からず、相手の気持ちを想像できないことが困ります。そこで、丁寧な言葉遣いをするのが大切であることを話しています。

また③については、これも話をする人がマスクを付けていると、口元の動きが見えないため、どのような話をしているのか分かりづらいという問題があります。そこで、教員は授業等で絵や写真、資料などを使って、「目」で見ても分かるような工夫をしていますし、教室を静かな雰囲気にしてしっかり「耳」を使って聞けるようにもしています。さらに、ぼーっと話を聞くのではなく、大事な内容を聞き洩らさないよう真剣な気持ちをもつなど「心」を使って聞くよう指導をしています。

最後に①については、新型コロナウイルス感染症の拡大がこれまで以上に心配される状況の今、最も重視しなければならない内容です。保護者の皆様には、8月24日(火)にさいたま市教育委員会から2学期の教育活動の在り方についてメールが届いたところですが、地域の皆様にも基本方針をお知らせいたします。

- ①感染症対策に万全を期して学校の教育活動を継続する。
- ②学校における通常授業とタブレット等を活用した自宅でのオンライン授業（双方向での授業）を併せたハイブリッドの授業を実施する。

本校ではこのことを受け、緊急事態宣言期間における子どもたちの「心身の健康」と「学習保障」の両立を図ってまいります。本日の始業式でも、登校している子どもたちには改めて「学校の新しい生活様式」を話題とし、今まで以上に「自分の命を大切にすること」意識を高くもつよう話をしました。また、原則、毎日タブレットを家庭へ持ち帰ったり学校へ持参したりするよう整備してまいります。さらに、本校では6月に引き続き、9月を「いじめ撲滅強化月間」とし、コロナに対する偏見や差別を含め、いじめ防止にも尽力してまいります。

2学期も本校の教育活動へのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。